

学校だより

津久戸

令和3年11月30日

12月号

新宿区立津久戸小学校

持続可能な社会の創り手を育てる

副校長 古川 卓也

11月12日（金）研究発表会を実施しました。研究発表会とは、本校教員が教員向けに授業実践の取組から得られた知見等を報告する会です。新型コロナウイルス感染症予防の観点から、発表会の形式を変更し、データ視聴による研究発表・授業実践報告を、Microsoft Teams によるオンライン配信にて協議会とシンポジウムを行いました。本来であれば、多くの方を学校にお招きし、児童の学ぶ姿や教員の授業の様子を参観していただきたかったのが心残りではあります。発表会では、歴史と伝統のある街・神楽坂を学習の場とし、地域の方々と交流し、地域の課題を考える生活科や総合的な学習の授業を通して、得られた成果や課題を発信しました。

生活科・総合的な学習の時間の学びには、「正解」はありません。学習の中で、自らが生成した問いに対して、探究心を働かせながら課題解決をしていきます。こうした探究型の学習は、現学習指導要領でも重視されています。来年度から新しい学習指導要領が実施されることになる高等学校では、「古典探究」「地理探究」「日本史探究」「世界史探究」「理数探究基礎」「理数探究」の7つの教科が新たに設置されます。小学校、中学校、高等学校の学習指導要領が改訂され、全ての校種で、予測できない未来を生き抜く力を身に付けた「持続可能な社会の創り手」を育成することを目指します。

先日、イギリスのグラスゴーで、国連気候変動枠組条約締結国による COP26 が開催されました。気候変動対策、温室効果ガスの排出抑制対策等の問題について、様々な議論がなされました。国内も含め、世界各国の様々な状況や取組が報道され、私自身、考えさせられました。これらの問題を解決するための答えに明確なものはありません。世界の国々・企業が、国連で採択された「持続可能な開発目標（SDGs）」の17項目の目標を達成するために尽力しています。小学校の学習にも、関連する要素が散りばめられています。

私たちが意識し、選択する行動は、今後、地球全体に大きな影響を与えていきます。私たちは、もう少し未来を見据えながら日々の変化に対応しなければなりません。学校での学習を通して、地域を学び、地域と関わることで、地域に愛着をもち、地域の様々な課題等に参加・参画していく経験を重ねてまいります。それが持続可能な社会を担っていく人材の育成につながるのではないかと考えています。

○教室でのコートやジャンパーなどの上着着用を認めます。

※できればインナー等での工夫を施し、室内外で服装を着こなす意識は養わせたいというのが、学校の願いではあります。

○使い捨てカイロの使用を認めます。ただし、家に持ち帰っていたことは徹底させていただきます。

音楽会について

音楽会委員長

3年ぶりの音楽会が、いよいよ12月に行われます。計画を立てた当初は、コロナウイルスの影響でどのような形で開催できるか分からない面もあったのですが、どうにか保護者の方にも来校いただける運びとなりそうです。

今年のテーマは「ひびきあい みんなでつくろう音楽会」です。残念ながら今回は元気な歌声をお届けすることができないのですが、それぞれの学年が楽器演奏の練習を重ね、すてきなハーモニーを奏でようと頑張っています。先日、6年生が楽器を講堂へ運び入れてくれました。学校全体で一堂に会して行事を楽しむことはできていないものの、学校中にあふれる音色をお互いに聴きながら、本番への期待を高めているところです。衣装などでご協力いただくこともあるかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

○保護者鑑賞日

○演奏順

今年度は全校で集まっただけの鑑賞が難しいため、本番は保護者鑑賞日1日とし、前日がリハーサルとなります。（子どもたちは動画配信で視聴します。）発表は、基本的に当該学年の保護者のみの参観です。（運動会の時と同じように学年ごとに入れ替えをしていただきます。）また、講堂内での鑑賞となりますので、各ご家庭2名までの参観とさせていただきます。

詳細およびプログラムについては、別途お配りするプリント等にてご確認ください。

主事室から見た子どもたち

用務

今年度から用務は委託会社に変更となり、メンバーが2人から3人に増えた新体制となりました。子どもたちも新メンバーに徐々に慣れてくれているようで、春から比べると挨拶をしてくれる子どもが増えてきています。「いつもありがとうございます」とお礼を言ってもらえたり、落とし物などで困っている子の力になれた時は嬉しく思えたり、仕事への活力になっています。時には、子ども同士で困っている子に寄り添っている姿を見かけます。よく話を聞き、なぐさめたり、励ましたりと、優しい心の成長を感じます。このような心温まる光景を沢山見つけられるように、心地よい環境作りを通じて子どもたちに寄り添い、成長を応援してまいります。



【学年の窓から・・・4年生】

1組担任

4年生は、「江戸東京野菜について調べよう」という学習をしています。新宿にゆかりのある内藤とうがらしを育て、その魅力を地域に広めようと取り組んでいるところです。内藤とうがらしの味やよさをまずは自分たちが知りたいとの思いから、給食に出してもらったり、自分で調べたレシピを家で作ってみたりしました。コロナ禍で思い通りにできそうにないことも、できること、できないことをすぐに線引きするのではなく、課題解決のためにどうしたら実現できるかをみんなで意見を出し合い、話し合っています。その中で子どもたちがいきいきと学んでいる姿を見ることができました。子どもたちがこれから自分の夢を実現したり、問題解決したりするときも大事な力だと思います。これからも前向きに学ぶ子どもたちを育んでいきたいと思っています。

2組担任

4年生となり早8か月が過ぎました。4年2組では、「前向き」「親切」「明るい」「協力」というキーワードを意識しながら生活しています。これは、4月当初に、どのようなクラスにしていきたいか話し合った際に、子どもたちそれぞれから出てきた言葉です。友達が困っていると自ら声をかけて助けてあげる姿や、自分の目標をもちそれに向かって頑張っている姿など、頼もしい姿に日々感心しています。

先日の遠足では、嫌な思いをする友達が出ないようにと、上手に話し合いながらグループを決めていました。一人ひとりが、友達のことを考えながら行動できるところが4年2組の良いところです。

春が来れば、いよいよ高学年の仲間入りです。津久戸小学校を引っ張っていくことができるよう、自分たちの良さをさらに伸ばしてもらいたいと思います。

12月の生活目標

『身の回りの物を大切にしよう』

- ・自分の持ち物の整理整頓をしよう。
- ・教室をきれいにしよう。
- ・学校をきれいにしよう。
- ・学期のまとめをしよう。



令和3年もあと一か月となりました。12月は身の回りの整理・整頓をして、新しい年を清々しい気持ちで迎えることができるようにしましょう。22日の大掃除の日前後にも専科の教室や廊下などを掃除します。心地よい片付けの時間を過ごしましょう。

学期末を迎え、少しずつ学習したものを持ち帰ります。まとめて持ち帰ることがないよう、計画的に進めましょう。



〈お知らせ〉

※新型コロナウイルス感染症の警戒レベルなどによって学習や行事等の実施が変更する場合があります。ご了承ください。

【お願い】

- 同居するきょうだい又は親族に風邪症状がみられた場合、PCR検査を受ける前であってもお子様の登校は控えてくださるようご協力願います。
- 新型コロナウイルス感染症の影響等により、お子様のことで不安等がありましたら、担任又は管理職にご相談ください。